

慶應SDM研究所

スポーツシステムデザイン・ マネジメントラボセミナー

入場無料

定員100名(先着順)
<https://bit.ly/keiosports241203>
定員になり次第、受付を終了いたします

学生スポーツがもたらす価値を考える：
～俯瞰的な視点・リーダーシップ・ウェルビーイング～

2024年12月3日(火) 16:30～18:30 (16:00開場)

慶應日吉キャンパス協生館 2階 AICラウンジ

スポーツは人や組織、地域に様々な価値をもたらします。特に体育会を始めとした大学のスポーツでは、オリンピックや日本代表としてスポーツを行う選手を輩出しながらも、人格形成を目的としたところもあり、様々な学生がそれを楽しみ、切磋琢磨しています。今回のセミナーでは、スポーツがもたらす価値の中で、俯瞰的な視点、リーダーシップ、ウェルビーイングといったスポーツの主要要素である心技体のうち、特に「心」に焦点をあて、その領域で研究を進めている登壇者を中心に議論を行います。この領域に興味を持つ主に大学生の参加を歓迎します。なお、一部英語での講演ならびに討議がありますが、同時通訳システムなどは導入せず、適宜、教員や学生がポイントを日本語で説明致します。

【プログラム】(敬称略)

16:30-16:35 開会挨拶 主催者代表 神武直彦 (SDM研究科教授)

16:35-17:35 学生スポーツがもたらす価値を考える

「SPORTS SDGs / SDMの視点から」 神武直彦 (SDM研究科教授)

「SDGs/ ウェルビーイングの視点から」 田中ウルヴェ京 (SDM研究科特任准教授)

「スポーツ心理学の視点から」 David Lavalley (SDM研究科特別招聘教授)

「リーダーシップの研究から」 廣瀬俊朗 (SDM研究科博士課程学生)

17:35-18:20 参加者を含めた総合討議

18:20-18:30 閉会挨拶 共催者代表 小熊 祐子 (KGRI慶應スポーツSDGsセンター センター長)

